

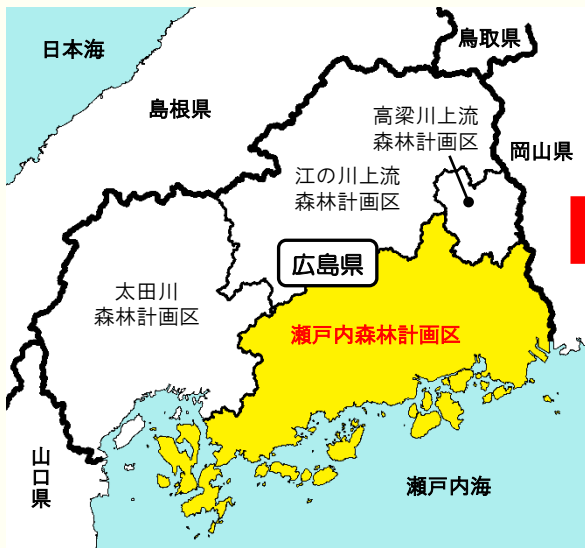
地域管理経営計画の概要

瀬戸内森林計画区

1 森林計画区の概況

国有林野面積は14,664haであり、主に北東部の芦田川水系上流域、中央部の^{ぬた}沼田川中流域、南西部の黒瀬川中～下流域に団地が集中しているほか、瀬戸内海沿岸部にも比較的小規模な団地が点在しています。

位置図



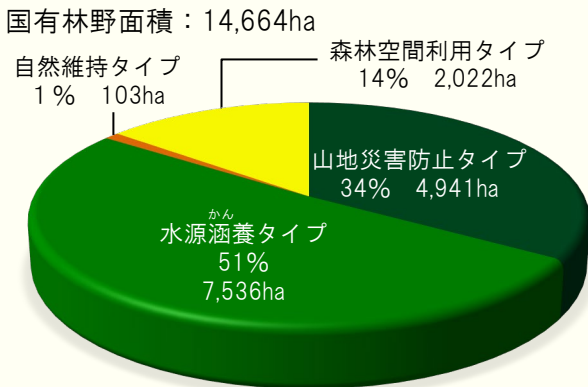
森林計画区内の森林面積に占める国有林野の割合は8%です。このうち58%は水源かん養保安林となっており、重要な水源涵養機能の一端を担っている一方、35%が土砂流出防備保安林であり、これらの国有林野では山地災害防止機能を重視した管理を行っています。

国有林野の人工林率は50%であり、この森林蓄積の約8割が10齢級以上と成熟した人工林資源に恵まれていることから、適切な森林整備を通じて、上記の公益的機能の高度発揮を図りつつ、木材の安定供給に取り組んでいます。

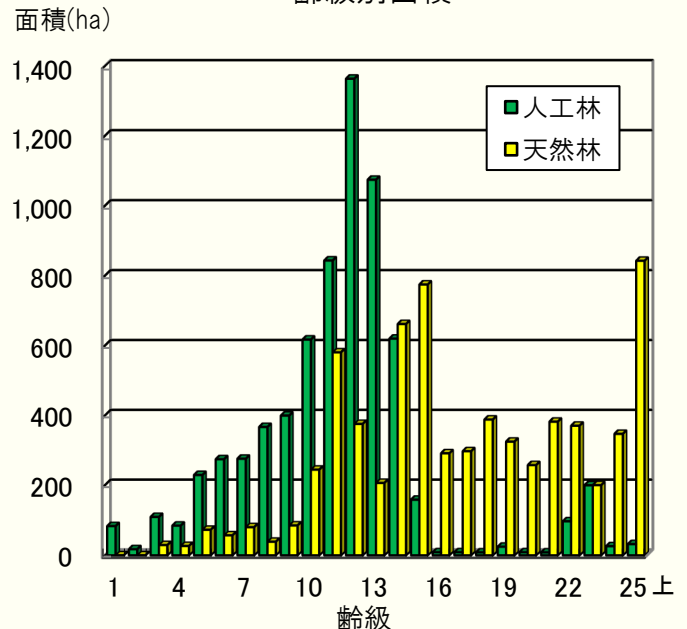
森林計画区内における森林面積の割合



機能タイプの割合



齢級別面積



注1 各データは令和3年現在。

注2 割合及び面積は単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計が合わない場合がある。

注3 機能類型は上記のグラフのほか、割合が1%未満である快適環境形成タイプが63ha存在する。

注4 齢級とは、5年をひとくりにし、林齢1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、以下、3齢級、4齢級と続く。

2 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

(1) 主要事業量

森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、1,910ha（20.8万 m^3 ）の間伐を実施し、間伐材の有効利用に努めます。

また、177ha（6.2万 m^3 ）の主伐を実施します。

事業区分		新計画	現計画
伐採総量	主伐	177ha（61,596 m^3 ）	242ha（74,588 m^3 ）
	間伐	1,910ha（208,156 m^3 ）	1,998ha（176,007 m^3 ）
更新総量	人工造林	223.11ha	248.05ha
	天然更新	—	—
保育総量	下刈	792.79ha	774.03ha
	除伐	81.05ha	158.51ha
林道事業	開設	2,546m	3,846m
	改良	43m	—
治山事業	保全施設	12箇所	6箇所
	保安林の整備	51.21ha	—

注1 主伐とは、利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり伐採した後に更新を行う。

注2 間伐とは、育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採すること。

注3 更新とは、伐採等により樹木がなくなった箇所において、植林を行うことや自然力の活用等により森林の世代が替わること。

注4 除伐とは、育てようとする樹木の生長を妨げる他の樹木を刈り払う作業。通常、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。

(2) 治山事業

山地災害の復旧や防止を図るため、民有林治山事業と連携して、計画的に治山事業を実施します。

本計画区では、平成30年7月豪雨により、呉市や三原市に所在する国有林野を中心に山地災害が多発しており、これらの被災箇所においては、治山ダムを設置など、復旧工事を重点的に実施します。

【民家の裏山の荒廃溪流に
治山ダムを設置】



【山腹工により復旧した
被災箇所の状況】



【山腹工を計画している被災箇所】



3 林産物の供給に関する事項

(1) 木材の安定的な取引関係の確立に関する事項

列状間伐、路網、高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進するとともに、自然条件・社会的条件を考慮して主伐を実施し、木材供給に取り組みます。

また、伐採・搬出した木材を製材工場等の需要者に直接販売する「国有林材の安定供給システム販売」を推進することにより、地域における計画的かつ安定的な木材供給体制の構築に努めます。

本計画区では、人工林資源の分布が多い呉市、福山市内の国有林野において、伐採計画量の約5割を占めています。

【作設中の森林作業道】

【プロセッサによる造材作業】

【作設した森林作業道を使用したフォワーダによる運材作業】



神子原山国有林（福山市）



笛木山国有林（福山市）



稗畠山国有林（三原市）

(2) 木の文化を支える森づくり

歴史的木造建造物の修復に使用される用材を確保するため、クスノキの大径木を育成・備蓄する場として、鍛冶屋山国有林（福山市）の約6haを「文化財継承林」に設定しています。

また、歴史的木造建造物の屋根の修復に使用される檜皮の採取等のため、80年生以上のヒノキ人工林のうち、野路山国有林（呉市）をはじめとした約46haを「^{ひわだ}檜皮採取対象林」に設定しています。

【文化財継承林のクスノキ大径木】

【^{ひわだ}檜皮採取対象林での採取作業】



鍛冶屋山国有林（福山市）



野路山国有林（呉市）

4 その他国有林野の管理経営に関し必要な事項

林業技術の開発、指導及び普及に関する事項

公益的機能の高度発揮を図るための森林施業及び保全技術、林業の低コスト化に向けた造林・保育・生産技術等の開発を計画的に推進します。

本計画区では、植栽本数密度の低減による低コスト化に向けた森林造成技術の確立を目標として、植栽本数密度の違いが林分構造や材質に与える影響を比較検討する試験を新元重山国有林（福山市）で行っています。

【植栽本数密度が2,000本/haのヒノキ試験地】



新元重山国有林（福山市）